



ぱくぱくだより



R7年 9月 17日(水)



ほうれんそうの種を蒔いてみて…

保育者がもらった、ほうれんそうの種。「蒔いてみる？」と聞くと「やる～!!」との言葉があり、3・4歳児で蒔いてみました。

蒔いたのは5月上旬。「たねちっちゃい」と小ささに驚きながら蒔き、「みずあげなきゃ」と水やりを行い、芽が出たのは5月中旬!。小さな頭を出したほうれんそうに感動する子どもたちでした。

それから水やりを続け、ほうれんそうはお日様の光を浴びて、大きくなるのを待っていましたが…。ある程度まで伸びるとなかなか生長せず、このまま置いておくと元気がなくなりそう!!との判断で6月25日に収穫することに。

給食室で茹でてもらったら、お皿ののったすこーしーのほうれんそう。ペロッと舐める程度の量でした。

うーん、これは失敗かもしれない。子どもたちは失敗とは思っていないかもしれませんが、もう少し多く食べられるように涼しくなった秋の初め、残っている種をもう一度蒔いてみるぞと考えています。「だれかやり方わかる人いるかなあ?」と話したのでお家に帰って聞かれたら教えてもらえるとありがたいです…♪



やさしく
採るよ…!!



茹でたら、こんなに
少しのほうれんそう



いつもおいしい給食をありがとう♪

毎日食べている給食、誰が作っているのか知っているようで知らずにいるのではないかな?

月に一度給食の先生と一緒に給食を食べる時間を設けることで、この先生が作ってくれていたんだと知る機会になり「いつもありがとう」の気持ちをみんなで伝えていきたいなと思います。たくさん遊んだあとの給食は子どもも大人も元気の源!

これからもよろしくおねがいします♪